

## 日本映画衛星放送株式会社 第34回番組審議会議事録

1. 開催年月日 : 平成 25 年 7 月 9 日 (火) 15 時～16 時
2. 開催場所 : 東京都港区赤坂 2-17-22 赤坂ツインタワー東館 15F  
日本映画衛星放送株式会社 ボーディングルーム
3. 委員の出席 : 委員総数 8 名 / 出席委員数 8 名  
出席委員 (順不同、敬称略) : 菊地 実・川本 三郎・坂井 保之・鈴木 嘉一・  
曾根 和子・田保橋 淳・鳥居 美砂・西 正  
放送事業者側出席者 : 代表取締役社長 杉田 成道  
常務取締役 酒井 彰  
取締役 佐藤 信彦  
編成制作局長 宮川 朋之  
編成制作部長 澤 尚志  
編成制作部(「新・御宿かわせみ」プロデューサー) 樋渡 典英  
番審担当 堤 靖芳  
清水 明(記)
4. 議題 (1) 審議事項  
時代劇専門チャンネル9月放送『新・御宿かわせみ』について。  
(2) 報告事項  
日本映画専門チャンネル、時代劇専門チャンネル、連動特集上映について。
5. 議題 (1) 概要  
地上波のテレビ時代劇が激減した現在、時代劇専門チャンネルにおけるオリジナル時代劇製作は、チャンネルが視聴者に向けて発信する非常に重要なアピールだと考えている。そうした中で、今回製作したオリジナル時代劇「新・御宿かわせみ」は、従来のオリジナル時代劇「鬼平外伝」シリーズとは異なる新しい狙いを持っていた。
  - ・女性視聴者をメインターゲットにした時代劇ドラマ。
  - ・名作時代劇ドラマの続編を製作することでの作品固定ファンの誘引。
  - ・従来と異なるテイストのドラマで新しい顧客の創造。
  - ・出版とのメディアミックス展開。上記企画意図に準じて考えた時、狙い通りのドラマとなり、本作がチャンネルに寄与するコンテンツになり得ているのかをご審議いただき、今後の参考とさせていただいた。

## 6. 議題（1）審議内容

- ・チャンネルが掲げたテーマに対して、合格点を出せるドラマが出来た。新しい作品アプローチが出来たことを評価したい。
- ・地上波テレビ局系の会社とコラボした企画力に敬意を覚える。続編を期待したい。
- ・オリジナルキャストと視聴者が過ごした30年という時間を感じる貴重な機会。感慨深い。ヒロインの真野さんは、その変遷と人間的深みを体現していて感動した。
- ・新しいキャストは、話題性があって良い。
- ・西洋文化と江戸文化の共生する難しい時代の風景、空気感がよく出ている。宿や牛鍋屋のセット美術も素晴らしかった。
- ・明る過ぎる絵作りが好きになれないし、もっと若くて綺麗な女優を期待してしまう。
- ・「鬼平外伝」シリーズと比べて、映像文化の違いを感じ、ちょっと残念だと思った。人間関係が複雑過ぎて、感情的についていけない箇所がある。
- ・前作を見ていないと分かりにくく、前作を見ている人には前半がくどいかもしれない。
- ・敗者の側から明治を捉えるという視点は面白い。明治5年は、戦前派、戦後派の葛藤もあると思うが、そこが描かれていないのは残念。
- ・女性ターゲットの番組作りという点と、新規顧客の創造という点については、疑問が残った。女性顧客を開拓するには、もっと若いイケメン俳優を投入してみてもどうか。
- ・女性が主人公だし、作品世界が殺伐としてないのは、女性向きだと思った。「八重の桜」のオンエア期間内に放送するというタイミングも良く、あの時代の別の女性の物語、という設定に興味を持てるのではないか。
- ・番組を見ていて地上波のドラマを見るより居心地が良かった。余韻も爽やかだった。
- ・ムック本には大変驚いた。勇気がある試みで、内容的にも面白い。今回の出版というメディアミックス展開は、視聴者層を考えると正解だ。

### <事業者回答>

- ・ドラマとしては説明台詞が多く、明るい画面になったが、キャスティングは豪華に出来た。従来製作してきた映画的なオリジナルドラマと対照的な番組をチャンネルの中に持てたことは、良かったと思っている。今後も幅広いドラマ製作を続けていきたい。
- ・前作のドラマを見ていないと分かりにくい、という声をいただいたが、オリジナルドラマ47作の放送を前提に作ったので、この作品だけを見た印象としては致し方ない。
- ・どなたにとっても楽しめる作品を目指し、原作ファンやドラマファンにとって、ちょっとずつ足りない印象にならないよう心がけた。
- ・ムック本は、気合が入り過ぎていて、多少マニアックな本となったが、ベストセラー原作があり、熱心なファンの方々がいて、こうした新たな挑戦が出来たことは幸運だった。
- ・原作者にも気に入って貰えたので、続編も作りたいと考えている。メディアの違うところに橋を渡す、とう意味では上手くいった。

7. 議題（2）報告事項

6月8日～28日、シネマヴェーラ渋谷で弊社の2チャンネルとコラボした勝新太郎17回忌記念上映「特集 勝新太郎 ～甦るカツシン伝説～」を行い、劇場で映画を見る方々に対して、2チャンネルの認知向上を狙うイベントを効果的に行うことが出来た。客入りも良く、製作したオリジナルグッズも完売で、大変盛況のうちに幕を閉じた。

8. 連絡事項：次回番組審議委員会は、2013年9月10日開催。

(以上)